

【A グループ】 4月30日（火）10時00分～12時00分

進行：露木議員 記録：二宮議員・松崎議員

テーマ「役場新庁舎」

意見の内容

庁舎の考え方について

- ・相談内容によっては他人に見られたくない場合もある。ワンストップは本当に必要か。
- ・一体、一般の人は一年間に何回役場に行くのか。
- ・小中学校統廃合の情報公開は遅れている。正しい情報がないと新庁舎の判断はできない。
- ・高度成長期は終わった。子どもたちへの負担を考えると建物は不要。町をコンパクトにすべき
- ・整備手法を3つ（現庁舎耐震化、東大跡地、ラディアン裏）に絞った根拠が分からない。
- ・教育委員会から地区長会で公表された学校再配置の方針では平成35年に西中は空く。役場移転先として検討すべき。
- ・住民説明会に若者が少ない。若者を含む合意形成が必要。
- ・急いで建設する必要はない。町民間の合意形成が必要。
- ・将来に対する町のビジョンがない。
- ・「業務継続計画（地震編）」によると、現庁舎の耐震性に問題ないことになる。
- ・町道の整備もままならないのに、役場新庁舎はできるのか。
- ・防災の拠点とは何か。明確に示してもらいたい。
- ・免震とした根拠をはっきり示せ。
- ・免震・耐震どちらが適切か。
- ・特別委員会を傍聴したが、町の説明に進展がない。
- ・町は新庁舎建設に向けてあらゆる手を使って議員を脅しにかかる。
- ・当初予算で否決されたものが、補正で復活はあり得ない。
- ・税収減れば交付金が増えるという前提はおかしい。
- ・交付税を受け取ることが本当に得かよく考えよ。
- ・4,800m²で他施設が入って大丈夫か。
- ・年間7,000万円も返済できるのか。

庁舎IT化

- ・職員がIT化についていけない場合がある。そうすると役場は防災拠点たりえない。
- ・病院のIT化はすごい。役場も参考にせよ。
- ・マイナンバーは使い道がない。
- ・役場に行く用はほとんどない（高齢者）。子育て世代も行かない。保健センターも年3回程度。役場職員の考えも一体化していない。コンセンサス形成のため時間か

けよ。

- ・文書保存期間前に文書がなくなっていることがある。新庁舎建設前に是正せよ。
- ・役場は条例を理由に何もしないことがある。
- ・耐震・免震以前に我々はサービスを受けることが前提。建設のプラス面を考えよ。
- ・IT化には広域化（二宮だけでなく）が必要。
- ・IT時代にワンストップ化は不要では。
- ・広域化による負担増に啞然とすることがある。

議会のあり方

- ・「議会だより」では議員間で意見が二分されている。いつまでもしこりが残るのは良くない。合意形成を考えよ。
- ・「広報にのみや」の修正案可決のプロセス（P5）を読んで、町の主張に対し議員はどう考えるか。
- ・議会は軽視されている。特に3月議会。
- ・今回の意見は今後どう反映されるのか。⇒議員や議会の考えに反映される。

【B グループ】 4月30日（火）10時00分～12時00分

進行：野地議長 記録：渡辺議員・羽根議員

テーマ「役場新庁舎」

意見の内容

財政について

- ・15億円が公約だったのでは。選挙が終わったら26億円になったことに対して悪意を感じる。
- ・説明不足の背景は国事業（H32年交付金を受けるための期限）ではないのか。交付金がなくても何とかする方法はないのか。
- ・交付金はぜひ活用して進めてほしい。
- ・財政逼迫と福利厚生費の増大、人口減という状況の中で借財を増やしてよいのか。
- ・選挙前には17億円の計画、5年間隠していた資料、132億円の借金に加えての借金は将来の負担が重すぎるのでは。
- ・借金の返済能力に疑問。
- ・返済に対して具体的な計画が聞こえてこない。
- ・借金を返す事について触れないのは問題。
⇒財政計画について町のずさんさについては議会として指摘している。
- ・職員がデータを隠していた（単価の基準が各地の庁舎建設の平均であったこと）。当初からコスト試算を求めていたが、結局出なかった。役場からはコンサルタントに5年前から最もお金がかかる方法を訊いていた。
- ・安上がりする方法（二宮小の活用や庁舎の現地での建替えといったオプション）を外してきたのはおかしいし、やり方に怒りを覚える。
- ・町に対して監査請求をきちんと出せばどうだろうか
⇒維持費を含めて、トータルの必要額を財政見通しに加えるよう、町には求めている。
- ・20年後の将来の予測は果たしてできるのか（金利も上がる可能性があり）。

町の将来・ビジョンとの関わり

- ・全体の姿が明らかでない。
- ・庁舎建設の長期的視野が感じられない。
- ・人口減と都市への集中。町はどのような対策を考えているのか。
⇒温水プールなども経費がかかるという意見もあり、これから施設整備についてどう優先順位を付けていくか。「これだけは必要」という意見があれば伺いたい。
- ・第二の夕張になりかねない。協議会でも公開して進めてほしい。拙速な議論はやめるべき。
- ・二宮は箱物・土地購入など無駄が多い。梅沢の突堤は漁業従事者がいなくなる中では不要。体育館は利用率が低い。

- ・町で最も大切なのは教育では。

⇒どのように考え方を町が変えていくのか議会として注目をしている。

構造・規模に関して

- ・保健センターの跡地利用はどのようにするのか。

⇒まだ正式回答はない。

- ・保健センターは70から80歳代の活用は低いのではないかと。最近の利用度は高いかもしれないが。

- ・保健センターは現在もお母さんたちには使われている。

- ・保健センターの跡地利用は。追加分はどういう中身・内容で㎡あたりのコストの根拠は何なのか。

⇒400平米の中身も精査されていないのではないかと。

- ・保健センター・教育委員会を一緒にすることはあとから出てきた

⇒現在、保健センターでは健康相談や未病センターとしての利用もある。母子手帳の発行に合わせて育児に関する相談を1カ所でできるようにしている。保健センターを一緒にするメリット・デメリットについては特別委員会でも論議している点である

- ・跡地利用とともに解体工事の費用が明らかになっていない

⇒解体工事費は町の工事費見通しに含まれており、後の負債となっている。

- ・3階建てなら免震はいらない。RCにする必要もない。

⇒免震構造が不要という点では議会特別委員会でもほぼ一致しており、構造の見直しを町に求めている

空き施設の活用

- ・二宮小に庁舎を移動すれば良いとの声を多く聞く。検討すべきでは

- ・教育施設と庁舎の耐震基準が違っていると町は説明している。二宮小移転の検討状況はどうか。

- ・ラディアンもみんなの意見を集約して建設を進めた。小中一貫校設置で空き施設の利用を検討しては

- ・財政が逼迫。人口減で学校施設も空く。小中統廃合の空き校舎利用は。

- ・保健センターはまだ使えるのでは。

- ・保健センターをどうするかは優先順位の問題。

- ・現庁舎の跡地をどのようにするのか、その後の費用は明確にする必要がある。

- ・何でも満足させられる時代ではないことを認識すべき。町民センター、保健センターなど一緒になれば便利には違いないが、財政の厳しい中、負担をする世代のことを考えて多少の我慢はすべき。

- ・理想的には保健センターが庁舎と一緒にあったほうが便利。離れているという実情も知らなかった。

必要性・緊急性

- ・地震が明日来るかも知れない中で5年後竣工の計画ということは、庁舎の利用はさ

ほど危険ではないのでは。

- ・今、新庁舎が必要なのか。
- ・熊本のことを考えると庁舎建設の必要性はわかる。
- ・人口が減る中ではしばらく手狭な庁舎で我慢してもらってはどうか。
- ・人口が確実に減っていく中で、職員も減っていくだろう。
- ・職員が減っていく中、庁舎規模・維持費が重荷になっていく。
⇒人口や職員数、求められる機能についてのシュミレーションがされていない認識だ
- ・屋上を利用した太陽光発電などで、経費を軽くする方法もある。
- ・上層階の賃貸による収入増を考えては。

立地について

- ・専門家・識者の意見をよく取り入れて進めてほしい
- ・平地を利用するという点は、利便性という点から評価する。
- ・津波・大雨の対応を考えるとここは選んではいけない。移すならば高台へ。
- ・ラディアン裏の立地だと葛川氾濫の場合の対応は。2階に防災機能を置くという職員の答弁には呆れた。
- ・時間 94 ミリで安全というのは根拠がない。周辺では過去に床上浸水もあった。

【C グループ】 4月30日（火）10時00分～12時00分

進行：前田議員 記録：大沼議員

テーマ「その他」

意見の内容

職員の働き方

- ・観光協会が社団法人化されていない
- ・観光協会を出している地図。国土地理院へ使用に確認などが必要なのにされていない。
- ・観光協会が出している地図が分かりにくい。信号もない。
- ・要望業務以外にも気配りをする事など、自発的な業務姿勢を求める。
- ・職員は的確に、迅速に対応してほしい。
- ・職員の会議の進め方（他市町村と比較）に疑問あり。
- ・国民的催事などの際は、ごみ収集を休ませるなど配慮してほしい。
- ・苦情処理窓口の一本化をすべし。
- ・情報のアンテナに格差があり、ニーズにできていない。
- ・職員が威張っている。
- ・議員と町民への対応に差がある。
- ・職員は、予算の積算能力がない。
- ・町の組織、課の名前がわかりにくい。
- ・戸籍課と税務課が一緒とはおかしい。
- ・職員の採用方法に問題がある。新卒では役に立っていない。民間経験者を多くするべき。
- ・コネ採用が多く見受ける。
- ・町民の立場で仕事をしてほしい。
- ・窓口職員には法律知識がない。
- ・財政状況が県内ワーストと聞いたが。
- ・すぐやる課はどうなっているのか。必要だ。

通いの場

- ・通いの場に話を伝えるために聞きに来た。
- ・興味がわかず、通いの場に行かない、つまらない。
- ・人間関係ができていながら入りにくい。
- ・地区の人集めに難が生じているため、地区割りバランスが悪いのではないか。
- ・地区役員や、組長の立場の人が高齢化などで役割を担えない。

地域

- ・小中一貫校の情報が遅い。
- ・問題になるような大きな事業の情報をもっと早く出してほしい。共有してみんな

考える仕組みがほしい。

議会について

- ・町長と議会の力は対等なはず。もっと議会は勉強すべき。
- ・議会（立法府）の力は強いはずなのでもっと町長と議論してほしい。

【Cグループ】 4月30日（火）18時30分～20時30分

進行：根岸議員 記録：露木議員

テーマ「役場新庁舎」

意見の内容

財政

- ・ どのようなことに対しても費用対効果を考えるべき。
- ・ 交付税措置の活用含め、計画を急ぐ必要はない。
- ・ 財源は大丈夫なのか、税金が上がるとか、子どもたちに大きな負担が残るのはダメ。

立地

- ・ 東大跡地は、その価値に見合う活用をすべき。東大跡地は半値でも高かった。
- ・ 庁舎の候補地として東大跡地があるが、あの場所がダメな理由が、理由になっていない。
- ・ 小・中学校を活用すべき。
- ・ 町のビジョンを示してほしい。
- ・ 町の考え方が見えない。情報発信が足りていない。
- ・ 庁舎だけを見ていたらダメ。全体を考えよ。
- ・ 建物ありき、の議論だからうまくいかない。町がダメな部分。
- ・ 保健センターを一緒にする理由が決定的なものではない。
- ・ アクセスが本当に良くないとダメなのか。
- ・ ラディアン裏は津波の心配はないのか。
- ・ ラディアン裏は災害時に心配。
- ・ 3階の建物に免震は必要ないのでないか。
- ・ 耐震で十分である。

その他

- ・ オリーブ産業が衰退している。町長が変わると一気に変わってしまう。
- ・ 総合計画が抽象的すぎる。
- ・ ボス（町長）がしっかりせよ。
- ・ 町の魅力をもっと打ち出すべき。人が減っていくが増えることをすべきである。
⇒社会増していることは説明
- ・ 北口商店街、全然元気がない。
- ・ 農業委員から不真面目と言われた。ひどい対応をされている。外から来た人を排斥する。
- ・ 現状では二宮で農業は始めにくい。
- ・ 町が活性化するための知恵を出すべき。
- ・ 吾妻山は財産。活用せよ。お金は取れないのか。
- ・ 産業のビジョンを掲げてほしい。
- ・ 観光協会は駅周辺に置くべき。

- ・町は何かで儲けることも考えるべきでは。

【D グループ】 4月30日（火）18時30分～20時30分

進行：渡辺議員 記録：羽根議員

テーマ「その他」

意見の内容

投票率の低下について

- ・投票率の低下をどう考えるのか。
- ・20代前半は関心が低い。
- ・議員が広報することが必要。
- ・以前の議員は地域代表の要素があった。ある程度町内の整備が進んだのではないか。
- ・国政の選挙は投票率が高い。町議の選挙に投票に行っても町は変わらないと思っているのではないか。
- ・家庭環境によって選挙の投票率は変わる。
- ・投票率が低いということは、逆に良いことなのかもしれない。
- ・町全体としての幸福度を上げることが大切。
- ・高齢化が進んでいる状況。広報の仕方を考える必要がある。
- ・選挙には関心を持ってもらえるテーマが必要
- ・立候補者の考えを広報できるタイミングが遅いのではないか。

町と県、国との関係性について

- ・町は県とのパイプが少ない。繋がり方が下手。人脈を創る必要がある。
- ・町長は県との繋がりを強化して欲しい
- ・町長は町外に出て行って、県、他の町の状況を知って活かしてほしい。

学校教育のあり方について

- ・庁舎と並行して、学校問題はやらなくてはならない。
- ・議会としても教育の案を考える必要があるのではないか。
- ・学校統廃合は町民の方への説明を十分に行わなければならない。
- ・学校教育は学年ごとだけではなく、縦の繋がり(他学年との繋がり)も大事。
- ・登下校だけ一緒ではなく、違う方法も必要。
- ・義務教育の充実が必要。
- ・学年で2クラス以上は必要と考える。
- ・費用面等を含め、国の力を借りる必要もあるのではないか。
- ・既に小中一貫教育の論議はされている。将来的には一校だが、一気にここまではいけない。
- ・地域は社会教育の問題について重点を置いた方がよい。地域の為に学校があるわけではない。子供の為にある。
- ・これから保護者になっていく20代の町民の方ほどの様に考えているのだろうか。

- ・レベルを求めると私立校に行ってしまうのではないか。
- ・町の教育費予算の割合は減ってきている。
- ・将来的にも少子化とは限らない。次の学校を作るときのために、町の所有地は残しておく必要もあるのではないかと指摘もある。
- ・小中一貫校になったとしても全てが良くなるというわけではない。
- ・地域割り、学校方が変わる時期に関心が高くなるのではないか。
- ・町長の決断力が必要。
- ・地区、学校区と合わせて考える必要がある。
- ・一校で良いから素晴らしいモデル校を作る。
- ・教育上、より専門的な考えを入れてほしい。
- ・良い教育を受けられる学校を作りたい。

【E グループ】 4月30日（火）18時30分～20時30分

進行：前田議員 記録：大沼議員

テーマ「役場新庁舎」

意見の内容

立地ほか

- ・一色小など児童数の少ない場所へ早急に役場を移転し、一色小児童はバスで二宮小に送迎できる。
- ・町民会館跡地は駐車場ではなく、プレハブでもいいから観光協会を置くべき。
- ・塩見橋の水位計をもっと見えるところに設置すべき。
- ・県任せの水位測定ではダメ。
- ・葛川は2級河川なのに平塚土木事務所に放置されている。
- ・学校施設の統廃合には町の総合的判断が必要。
- ・庁舎建設案を出した後になって学校計画案が示されるのは不信感を抱く。
- ・町全体の施設状況を公開して議論すべき。
- ・庁舎を優先することについて説得力のある説明がほしい。
- ・なぜ4年も待てるのか。完成までに大地震が来れば意味のないことになる。
- ・木造など軽重量の建設を考えるべき。
- ・今まで役場庁舎を耐震補強しなかったことがおかしい。
- ・学校補修で引っ越したほうがはるかに安い。
- ・危ないなら早急に移転するべき。
- ・他市町の庁舎はガラス張りにしているものが多いが地震の際、飛散し危険。しかも高額な費用となるうえに熱効率が悪くランニングコストが高騰する。
- ・平塚庁舎にはトイレが1階にありこれは非常に便利である。
- ・ボーリング調査の際に地下水脈も確認し利用することを考え、更に地熱利用など環境負荷の少ない庁舎とするべき。
- ・道路冠水したら庁舎に行くことができない。河川改良を早急にすべきであり、水位計の表示を明確にするべき。
- ・公民館跡地を駐車場にすることに反対、駅前には観光協会等町の玄関として効率的に利用すべき。

財政

- ・役場庁舎だけ立派になって残っても町民がいなくなる。
- ・町民のための行政でなければダメ。
- ・財源に不安がある。
- ・自主財源で建設費がまかなえないと子ども、孫の世代まで負担になる。
- ・建設費総額を下げるべき。

プール

- ・温水プールがあるため、二宮に住居を決めた。

- ・ 袖が浦プールは重要で残すべき。
- ・ 温水プールは利用料をあげてでも利用したい。

議会

- ・ 今の議会は頑張っていると感じる。
- ・ 暴走する行政ではダメ。